



第18号

高畠町立高畠中学校
PTA文化広報部

印刷：(有)寄清堂印刷
TEL 0238-52-0005



〈体育館にて〉

3学年集合写真

一年を振り返って



PTA会長
山木 広志

今年度も引き続きコロナ禍の中でのPTA活動となりました。

活動方針も

変わりゆく時代

成長しよう子どもとともに

いまPTAが出来ること

「つながりよう家庭・学校・地域の輪」

と変化を受け入れた上で、新しい活動を模索したところです。そのような状況下で開催された教育講演会では「ペップトーク」という考え方を学びました。暗くなりがちな日常を吹き飛ばし、参加者全体が明るく前向きな気持ちになれたことは大きな収穫でした。新たなPTA活動への過渡期となった一年でしたが、対応できたのも保護者の皆様のご協力のおかげと改めて感謝申し上げます。今後も保護者・地域・学校が一つとなり、子どもたちの健やかな成長を見守り、育てて行きたいと思えます。引き続き皆様のご協力をお願い致します。

私は、三組のみんなと楽しい二年間を過ごすことができました。何事も笑顔と全力で取り組んできた三組。体育祭では、二年連続で応援団結賞を獲得することができ、最高の思い出になりました。三組で過ごした日々はとて大切な宝物です。これから、それぞれ自分で決めた道を進んでいきます。辛いときはみんなが過ごした日々を思い出せば笑顔になります。二年間本当にありがとう！お互い頑張るぞ！

三年三組
長谷川 杏海



3年3組

3年4組



四組はいつも明るく、何事にも積極的に取り組むことができ、共に支え合って良いクラスでした。体育祭では一丸となって競技優勝を獲れたことが一番の思い出です。これからそれぞれ別の夢に向かって自分で決めた道を進んでいくことになりました。四組のみんなと過ごした日々は一生の宝物だし、二年間過ごした日々はとても楽しかったです。本当にありがとうございました。

三年四組
高橋 聖翔

3年5組



僕は五組のみんなと二年間一緒に学校生活を送ることができて良かったです。みんなと一緒にいるだけで毎日幸せでした。明るく元気な人、みんなを笑顔にしてくれる人、真面目でリーダー性のある人、何事にも本気で取り組む人など、いろんな人が一つになって今の五組があります。そんな五組も来年から一人一人違う道に進んで行くけれど、
31 for one
31 for one
で心を一つにみんな頑張ろう!! 二年間ありがとうございました。

三年五組
伊藤 舞音

3年6組



二年間をあっという間に感じさせるほど毎日が楽しい六組。授業でも休み時間でも互いに教え合い、高め合うことのできる真面目なクラス。そして私達のことをよく見てくれて成長に導いてくれた田口先生。練習でなかなか上手くいかなかった体育祭やもめることのある修学旅行も、最後は心を合わせて大成功させる六組は最高でした。これからみんな別の道に進むけれど、今までのように助け合って頑張ろう。

三年六組
金子 龍誠

3年7組



毎日笑顔の絶えない七組。とにかく元気で賑やかなクラスでした。体育祭や修学旅行、日々の生活でも楽しむときは楽しむ、真面目なときは真面目に。何事にも全力で取り組んできました。その全てが僕たちにとって大切な思い出です。これからそれぞれ別の道に進んでいきますが、七組のみんなと横山先生に出会えたことに感謝して頑張ります。最高の思い出をありがとう。そして、みんなとまた会えますように。

三年七組
渡邊 琉偉

卒業生へはなむけの言葉

ダイヤモンドの原石は、薄暗い灰色です。人間が研ぎ澄ますことで美しいあの輝きを放つそうです。ダイヤモンドのように人との関わりで人間力を研ぎ澄まし、自分らしい色で輝いてほしいと思います。ご卒業、おめでとうございます。
1組担任 保原 勇介

コロナ禍の厳しい状況でも立ち向かっていく、みなさんのたくましい姿から多くのことを学びました。まさに浜田広介先生のことばにある「強くやさしく、やさしく強い」人の姿。これからも周りの人を大事に、自分を大事にしてください。卒業おめでとう!
4組担任 梅津 佑妃

「一華五葉」。成功には5つの助けがある。感謝を忘れてはならない。失敗には5つの教えがある。学びを忘れてはならない。驕らず、恐れず、みなさんの人生にたくさんの綺麗な花が咲くことを祈っています。卒業おめでとう。
6組担任 田口 雅人

人を思いやる温かい心が、たくさんの喜びと感動を生みました。Successをめざす日々の中で仲間のありがたさが心にしみ込んだと思います。これからの皆さんの出会いを楽しみにし、素敵な仲間同士になれるよう頑張ってください。
7組担任 横山 照彦

ご卒業おめでとうございます。近年にない大雪。コロナ禍。受験生にとっては厳しい冬でした。そんな中でも、全員が全員で自分たちの進路を切り拓こうとする姿(学習態度)はどのクラスも本当に立派でした。前途に幸多かれと祈ります。
3学年副主任 近野 享子

ご卒業おめでとうございます。人生で大切なものは、「家族・健康・友人」です(私の勝手な思い込みですが)。家族と自分と仲間を思いやる優しさ、守り抜く強さを手に入れられるように挑戦していただき。応援しています。
3学年主任 土屋 一雄

素直でめんごいみんなとの3年間は私の宝物です。辛いことになつたとしても、何とか乗り越えるか経験する場。嫌になつたこともあったのでは。でも、自分の一番の味方は自分。自分を大切に。自分を支えてくれる人を大切に。ご卒業おめでとう。
2組担任 安孫子 遥
3組担任 齋藤 久美子



ご卒業おめでとうございます。いつも優しい気持ちで感謝の心を忘れずに学校生活を送ってくれました。一年生の頃の姿を思い出すと、みなさん、この三年間でなんと逞しく、頼もしく成長したことでしょう。困難なことがあっても、逃げ出さず、一生懸命に立ち向かっていったように思います。これからも、大変な場面に直面することがあると思いますが、持ち前の素直さと誠実さで乗り越えていってください。ゴーイング・マイ・ウェイ!
特支主任兼かがやき1組担任 熊坂 律子

ご卒業おめでとうございます。コロナのことを気にしながらだったけど、久々に歌って、やっぱり合唱はいいなと実感した最後の年。一人ではなく誰かとハモるからこそ喜びです。出逢いを大切に、支え合い、新たなハーモニーを奏でてくださいね。
はばたき担任 金子 祥子
3学年副主任 近藤 歩

「ありがとう」この言葉を僕は三年一組に贈りたいです。二年生の初めはコロナの影響で分散登校でした。全員が集まった時、一組の温かい雰囲気ですぐクラスに馴染むことができました。とても感謝しています。体育祭では、三年生が中心になって後輩をリードすることができたので、体育祭を大成功させることができました。コロナ禍での修学旅行でしたが、最高に楽しむことができました。最高の思い出があります。最高の思い出をありがとう。

三年一組
淀野 涼翔



3年1組



3年2組

三年二組の三十人は、全員個性が激強です。初めはその個性がぶつかり合ってしまうことがあったけれど、時間が掛かりながらもゆっくりと一つ一つになっていきました。今は個性がぶつかり合うのではなく、個性を認め合い全員が様々な場面で輝けるクラスになりました。きつと、将来の姿も各々の個性が光っているんだらうなあと感じます。
次、三十人が会う時に、それぞれが夢を叶えて素敵な姿になっていますように。:
三年二組
大河原 瑠菜

二年生 PTA 行事

立春式

-りっしゅんしき-

進路激励会



三年二組 星 優哉

二年四組 高木 夏奈

私たち三年生は、一・二年生から思いのこもった絵馬をいただき、将来のために勉強するという気持ちを高めることができました。これからの人生を決める大切な時期にいる三年生はとて大きなプレッシャーを抱えています。この大切な時期だからこそ、みなさん一人ひとりの応援メッセージが大きな力になりました。自分の思いだけでなく、みなさんの思いを原動力に頑張っていきます。

新任員として初めての行事でした。コロナ感染対策のためタブレットと電子黒板を使って行いました。初めての試みでスムーズに進むか不安がありました。が、執行部全員で助け合いながらすることができました。当日は、テレビを通して絵馬を渡す様子や三年生からのメッセージを一年生に伝えることができました。三年生から「ありがとう」「頑張ろう」と喜んでもらうことができ、一生懸命取り組んで良かったと思いました。



一学年PTA事業 オンライン 親子行事

一年六組 小玉 朝夏

各クラスで、オンライン模擬授業を行いました。私のクラスでは、「みんなに自慢したい物語」をテーマに、それぞれ個性あふれる紹介をしました。家に飾ってあるものやピアノ、たくさんの思い出の品をオンラインならではの方法で共有することができました。今はコロナウイルスの影響でいつオンライン授業になるかわかりません。今回親子で確認することができたのは、良い経験になったと思います。



今年度一学年行事は、各家庭で、クラス毎のオンライン授業を行いました。新型コロナウイルスが蔓延し、いつ学校が休校になるかわからない為、その時の予行練習も兼ねての授業となりました。各担任の先生より笑いを取り入れた授業を楽しく行うことが出来ました。まだ不慣れな部分もあり課題もあるようですが、良い機会になったと思います。

一年六組 小玉 朝夏

二年六組 後藤 天祐

僕はたくさんのお世話になっていて、感謝の気持ちを忘れず、恩返しできるように、何事も一生懸命に取り組みしていきます。

二年七組 伊藤 翔太

僕の目標は、やると決めたことを最後まで諦めずにやりきる事です。将来の夢の実現のために、走り続けていきます。

二年四組 湯湊 妃乃

私はどんなに小さなことでも一つ一つ真剣に向き合えるようにという思いを込めました。立春式での決意を、行動で表せるように一生懸命頑張ります。

二年五組 平 龍之介

立春式で発表した後、夢に向かって歩み続けるという意味を込めて「続」にしました。この文字を胸に、更に成長し続けていきたいです。

二年三組 渡部 琉成

僕はたくさんの人を笑顔にしたいという思いを込めました。そのため、自分自身がどんな時も笑顔で忘れずに色々なことに向き合っていきます。

二年二組 佐藤 譲治

私は自分の人生に後悔はしたくないので、今まで先送りにして来た新しい事にも挑戦していきます、自分らしく誇りを持って前に進んでいきたいと思っています。

私の夢はイラストレーターになることです。これから、色々な人やたくさん作品に関わり、みんなが笑顔になれるような絵を描けるよう頑張ります。

私はたくさんのお世話になっていて、感謝の気持ちを忘れず、恩返しできるように、何事も一生懸命に取り組みしていきます。

二年二組 佐藤 譲治

生徒会新役員紹介



- 後列右から
 - 体育委員長 武田陽翔(二年四組)
 - 保健委員長 新井 空(二年一組)
 - 整美委員長 細越千寛(二年七組)
 - 事務局長 高崎 祐(二年六組)
 - 応援部長 市川 倅(二年一組)
 - 青木優羽(二年三組)
 - ポランティア委員長 佐藤洗優(二年六組)
 - 副会長 小関詩珠(二年一組)
 - 広報委員長 渡部正大(二年四組)
 - 生徒会長 佐藤譲治(二年二組)
 - 給食委員長 五十嵐幹(二年六組)
 - 副会長 小林恒平(二年四組)
 - 学芸委員長 阿部千那(二年七組)
 - 議長 金子紗良(一年五組)
 - 図書委員長 深瀬礼愛(二年一組)
 - 生活委員長 狩野祐輔(二年五組)
- 前列右から
 - 保健委員長 新井 空(二年一組)
 - 事務局長 高崎 祐(二年六組)
 - 議長 青木優羽(二年三組)
 - 副会長 小関詩珠(二年一組)
 - 生徒会長 佐藤譲治(二年二組)
 - 副会長 小林恒平(二年四組)
 - 議長 金子紗良(一年五組)
 - 生活委員長 狩野祐輔(二年五組)

旧生徒会長の言葉

今年度は、生徒会スローガンとして「彩光」を掲げ様々な活動を行うことができました。生徒会活動や学級内の学習の場では一人一人が積極的に行動し、輝く姿が見られました。それぞれの輝きが合わさって大きな光を生み出すことができました。来年も、生徒会活動を通してより良い高島中をつくり上げていってほしいと思います。

新生徒会長の言葉

コロナ禍の中、今まで通りの活動ができないこともありましたが、しかし、執行部で話し合いを重ね、新しい取り組みや活動を工夫して行うことで新しい可能性も見えてきました。僕が目指す学校は、全校生が居心地のよい学校です。誰一人不自由なく楽しく学校生活を送れるよう、取り組む生徒会を考え、全校生が楽しめる学校を目指します。生徒会長として自覚を持って頑張りたいと思います。

V文化活動の歩み

- ◆第七十六回県展、第六十三回記念子ども県展
 - 県展賞 関 佳乃③
 - 入選 高橋 陽希③ 加藤 千佳② 岩崎 奈央① 大浦 まる① 鈴木 美結②
- ◆第四十回全国中学生人権作文コンテスト山形県大会
 - 山形新聞社賞 金子 真尋③
- ◆全日本吹奏楽コンクール 置賜地区大会
 - 中学校の部 優良
- ◆全日本アンサンブルコンテスト 第四十八回置賜地区大会
 - 金賞 打楽器四重奏 木管五重奏 木管四重奏
- ◆第七十三回東南置賜地区：高英語弁論大会
 - 第二位 村上 胡桃③
- ◆第八十回県少年の主張大会 南陽・高島大会
 - 最優秀賞 高橋 夢希②
- ◆第十八回ひろすけ童話造形創作コンクール
 - 審査員賞 岡崎 美咲②
- ◆東置賜地区中学校読書感想文コンクール
 - 優良 本田真結香③ 滝沢 綾子③
 - 入選 舟山 心柳③ 阿部 千那② 板垣 涼子③ 水口 真琴③ 佐藤 悠衣③ 高橋 夢希② 井田 葵② 青野 結衣② 竹田愛華里① 高橋 穂空①
- ◆高島町町民憲章作文コンクール
 - 最優秀 板垣 涼子③
 - 優秀 安部 優里③ 横山 夢人③ 深 心美③ 安孫子琉生③ 高橋 陽希③ 佐藤 悠衣③
- ◆第四十回全国中学生人権作文コンテスト置賜地区大会
 - 山形地方方法務局長賞 金子 真尋③
 - 優秀賞 大内琉々華③
 - 奨励賞 森谷まなこ③
- ◆高島町小さな親切作文コンクール
 - 金賞 石原 駿③
 - 銀賞 渡部 隼人①
 - 銅賞 水口 真琴③ 平 心結③
- ◆第二十三回まほろば百景絵画展 高島ワイナリー賞
 - 高島町長賞 伊藤 千奈③
 - 審査員特別賞 三浦 歩綾③
 - 金賞 島貫 珀人②
 - 銀賞 村岡 愛琉②
 - 銅賞 渡部 結衣②
- ◆第十三回山形県年金ポスターコンクール
 - 優秀賞 三浦 歩綾③
 - ◆第七十一回社会を明るくする運動作文コンテスト
 - 最優秀賞 前田 実咲③
 - 優秀賞 長谷川杏海③
 - 奨励賞 八巻 凜③
 - ◆高島町いじめ防止標語コンクール 置賜地区推薦
 - 澤 惟哲① 後藤 廣哉② 関 二は② 高梨まどか③ 高橋 陽希③
 - ◆高島町環境保全ポスターコンクール
 - 最優秀賞 高橋 未来②
 - 優秀賞 渡部 結衣②
 - 佳作 中川 葵那③ 高梨まどか③
 - ◆第三十三回東置賜地区防犯ポスターコンクール
 - 最優秀賞 高橋 陽希③
 - 農業生産部が協力
 - ◆天神山桜植樹の活動

お家の方やお子さんのコメント欄から

高中生一家のメディアへの上手なつきあい方や課題が見えてきました。

親から見ると…

工夫や気をつけていること

- 時間を決めている
(時間になると自動でシャットダウンするように設定)
こういうアプリがあるんですね
- 使用場所を決めている(自室に持ち込まない)
- 管理は親がしている家庭が多い
- 期間を設けて我慢させるのも大切だと思う
- 勉強にスマホを活用していた
3年生は特に、使わないことよりも使い方の工夫が見られました

取り組みについての意見…

- アウトメディアでメディアから「離れる」取り組みだけでなく、「上手につきあう」方向を知らせていく方が子供たちも受け入れやすいのではないか
- メディアコントロールを自分でできるといいと思う

- 犯罪のニュース等がある度に、特に気をつけることを話し合っている
- 日頃からネットの使い方やマナー、危険等について話している
- メールの内容や写真などプライベートなものは他者に見せないように話している

アウトメディアの期間だけでなく、普段から気軽に親子で話せる雰囲気も大事ですね



- 使うことが悪いことではないどう使うべきかを大人も一緒に気をつけて情報を共有していく必要がある
- 親がスマホを買い与え、それが原因で子どもを叱り悩んでいるのを聞くと矛盾を感じる

同じ悩みを抱えている人、結構いるんじゃないかなあ

子どもから見ると…

今後、アウトメディアを日常的に継続していくには、どんな取り組みが効果的であると考えますか

- 一人一人日常でも自分なりに目標を立てていく
- 自分に合った目標をやることで持続的 capability がつくと思います
「自分なりの」「続ける」ということがポイントのようですね
- 自主的なアウトメディアの呼びかけをする
- メディアを使う時間を決める
- アウトメディアがないときでも自分で意識していけばいいと思う

- アウトメディアを行うことで、勉強の楽しさに気づいてもらう取り組み
- 家族に協力してもらったり、自分で意識することが大切だと思った習慣をつけるために1週間やってみるのもいいと思った
- 自分の感想だけでなくお家の人の感想などを記入してもらう

客観的な立場から評価してもらうこともやる気アップにつながるのかも!



まとめ

アンケートの結果から、それぞれのご家庭でメディアの使い方や使用時間について、不安や心配を感じていることも伝わってきました。保護者の立場から、同じ思いの方もいるのではないのでしょうか。しかし、メディアから離すだけでなく上手につきあうという考えもまた必要な時期にきているのかもしれません。親が「預かる」から自ら「預ける」へ、また、「依存」から「離れても大丈夫」へ、意識や行動の面で自主・自立へと成長できるように、親子で話していけると素敵ですね。



高中生の

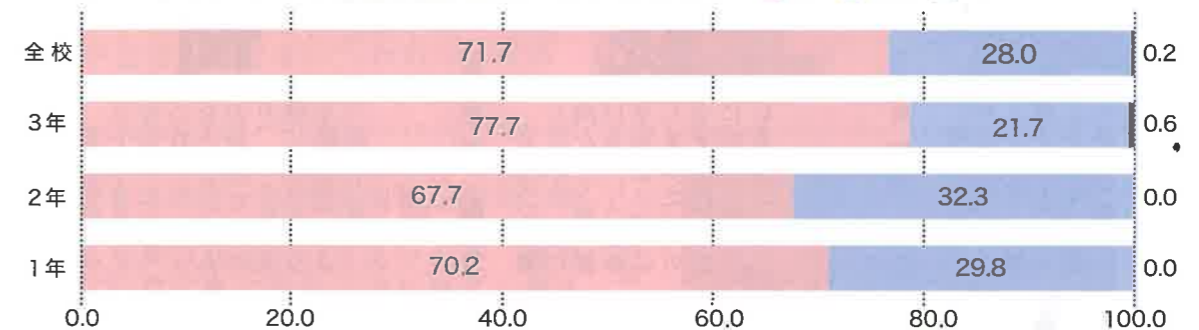
挑戦! アウトメディア

高島中では定期テストの時期にあわせて、PTA育成研修部や生徒会の保健委員会を中心にアウトメディアの取り組みを行っています。今回は、2学期の期末テストの時期にお家の方からいただいたアンケートと保健委員会が行ったアンケートをもとに、その取り組み状況をまとめてみました。

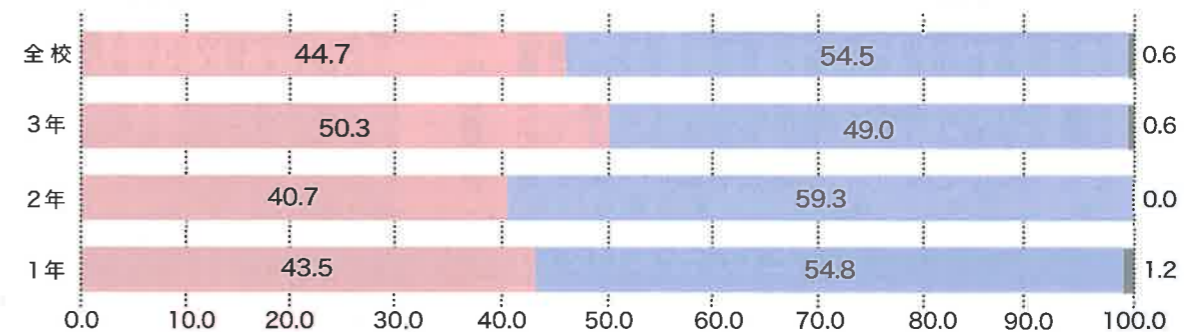


お家の方の回答から

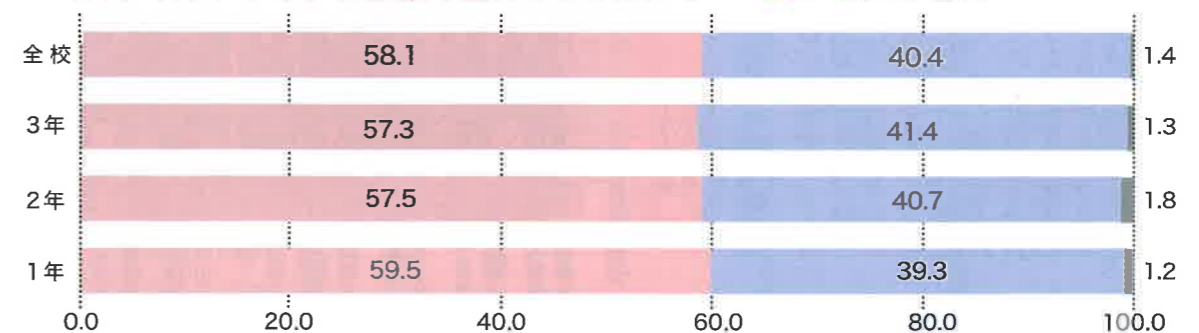
1. アウトメディア取組期間を知っていますか?



2. 今回のお子さんの目標を知っていますか?



3. アウトメディアに家族で協力しましたか?



生徒のアンケートから

アウトメディアに取り組み、自分の目標の80%以上達成できたと回答した生徒の割合は、1学年75.8%、2学年63.4%、3学年74.1%でした。各学年共に1学期よりも10%以上増加しており、アウトメディアを意識しようと意欲的になってきたようです。





一学年部長 安部 直樹

今年度も新型コロナウイルスが猛威を振るう中で、例年のような活動ができませんでした。県内ではコロナの影響で数日休校となる学校も出ており、当校も休校となった日もありました。しかしながら年内の授業日数は定められており、学校教育として授業は行わなければなりません。そういった視点から万が一に備えオンライン授業の体験会を一学年では企画し、実施致しました。子どもたちは端末操作にも慣れており、特段問題もなく行うことができました。オンライン授業がメインとなるような事態は避けたいですが、有事に備え、こういった活動も必要かと思えます。一年間ご協力ありがとうございました。

二学年部長 島貫 良子

二学年の学年行事は立春式を行いました。本当ならば保護者の方や先生方の前で堂々とした発表や合唱ができることを楽しみにしていました。が、残念ながら叶わず生徒だけの各クラス毎の発表となりました。そして後日、保護者の方々にはタブレットでその様子を見て頂くことが出来ました。準備にあたり役員の方々や先生方に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍で迎えた中学校生活ですが、自分の考えや様々な事に目を向け学び、自分達らしく楽しそうに学校生活を送っている子どもたち。体も心もしつかりと大人へと歩みを進めています。それぞれの夢に向かい、明るい未来へと羽ばたく姿を心より応援しています。

三学年部長 水口 哲

本年度、二学年部では高校説明会を開催しました。昨年はオンライン配信による開催でしたが、今年度は保護者にもご参加いただき、一堂に会して開催することができました。皆さんの進路を決定する上で、親子で話し合い、勉強

に励むきっかけになったことと思います。

今年度も残念ながら卒業祝賀会や、学年懇親会は開催することができませんでしたが、生徒全員の進学先、進路の希望が叶って、笑顔で卒業出来ることを心から願っています。一年間学年部の活動にご協力をいただきましたPTAの皆様、先生方にあらためて感謝申し上げます。

文化広報部長 渡部 一喜

東京・北京オリンピックウィヤーとなった今年度、メディアは日本の活躍に大いに盛り上がり、多くの感動を伝えました。そして、文化広報部はというと、高中生の活躍と頑張り、行事に一丸となって取り組む生徒の姿や日々の学校生活の様子をお伝えできたと思います。

今年度の活動も制限のある中ではありましたが、広報誌を計画通りに発行することができました。原稿を寄せていただいた皆様と編集に当たった役員、先生方に感謝申し上げます。今年度の活動報告とさせていただきます。一年間、ご協力いただきました、ありがとうございました。

育成研修部長 荒井 とき

コロナ禍でいろいろな日程が定まらず、予定していたあいつ運動は初日集まってすぐに中止となり、講演会も講師の先生を学校へお招きできず、皆様にはご心配をおかけしました。無事開催できました事感謝申し上げます。

アウトメディアアンケートでは、不安や心配だけでなく、日々の工夫等、たくさんのお言葉を頂きました。一年間ご協力ありがとうございました。

環境保体部長 小林 典子

環境保体部では、今年度も朝の立哨と「家族deフッキング」を行いました。

朝の立哨では、子どもたちの元気な挨拶に感心させられました。又、「家族deフッキング」では、お忙しい中、たくさんの方に取り組んで頂きありがとうございました。

今後とも、皆様のご協力を宜しくお願い致します。一年間、本当にありがとうございました。

編集後記

今回の広報誌いかがでしたでしょうか？子ども達も私達一年生の役員もコロナの中色々工夫して広報誌を作成しました。あまり集まる事が出来ませんでした。が、広報部長や一年生の役員の方々、先生方のご協力により無事発行する事が出来ました。心から感謝申し上げます。最後に皆様のご健康とご健勝をお祈り申し上げます。作成に関してご協力、誠にありがとうございました。

編集委員(一学年)

濱田 勇希	我妻 真紀
近野 真弓	鈴木 淳
長谷川 宏幸	大浦 香織
渡部 一喜	中川 一幸
西方 茂太	小玉 文子
山田 和季	嶋貫 拓人
沖津 達也	